

文化遺産総合活用推進事業 実施報告

1 都道府県・市区町村名	和歌山県・田辺市	2 補助事業の種類	世界文化遺産活性化
3 実施計画の名称	熊野古道（中辺路）を中心とした「紀伊山地の霊場と参詣道」活性化事業計画		
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
5 過去の補助事業実績			
平成23年度文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業			千円
平成24年度文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業			千円
平成25年度文化遺産を活かした地域活性化事業			千円
平成26年度文化遺産を活かした地域活性化事業			千円
平成27年度文化遺産を活かした地域活性化事業			千円
平成28年度文化遺産を活かした地域活性化事業			千円
平成29年度文化遺産総合活用推進事業			10,720 千円
平成30年度文化遺産総合活用推進事業			17,653 千円
6 計画の実施状況（概要） ※平成30年度までに実施した計画の実施状況を記載してください。			
<p>平成29年度では、中辺路・熊野三山ガイドブック（英語版）、中辺路・熊野三山マップ（英語版）等の制作を行うとともに、英・仏・スペイン語併記の中辺路・熊野三山パンフレットを制作した。また、首都圏において、熊野・高野・吉野の宗教界重鎮によるシンポジウム「世界遺産 紀伊山地の霊場と参詣道の本質を探る」を開催した。さらに田辺市内の世界文化遺産追加登録箇所等への外国語表記の案内板を設置した。</p> <p>平成30年度では、小辺路・高野山ガイドブック（英語版）、小辺路・高野山マップ（英語版）を制作した。また、スペイン国サンティアゴ・デ・コンポステーラー市でのセミナーへ出展し、共に数百キロに及ぶ「熊野古道」と「サンティアゴ巡礼道」の巡礼文化の魅力を情報発信した。さらに、熊野古道等における外国語表記案内看板の不足箇所の調査を実施した。</p>			
7 定量的な目標に対する計画の進捗状況 ※平成30年度までの進捗状況について、実施計画で設定した指標に基づき、状況値と目標に対する達成率を記載してください。（指標・目標値を複数設定している場合は、全て記載）。		別紙①②のとおり	
8 事業実施による効果等 ※平成30年度までの計画の実施により得られた効果や実施後の状況（人数、理解度、活用状況、人材育成などの指標に基づき、定量的・定性的な効果）を具体的に記載してください。			
<p>平成29年度（暦年）の田辺市の外国人宿泊客数は約37,000人であり、平成28年の数値（約31,000人）と比較すると約6,000人の増加となっている。</p> <p>平成30年の本市の観光動態データが公表されるのは平成31年8月頃となるが、速報値では約44,000人となっており、前年より7,000人の増加となっている。</p> <p>また、熊野を中心に「紀伊山地の霊場と参詣道」を広く情報発信するための紙媒体（ガイド本等）の資料が段階的に充実していくとともに、（世界の目が日本に集まる）東京オリンピック前年の平成31年には、平成29年度で実施したシンポジウム内容を活用した多言語ホームページを整備していく。また、外国語表記案内板についても、不足箇所の調査結果を基に案内板の整備を進める。</p>			
9 得られた効果の検証・分析			
<p>平成29年（暦年）の田辺市の外国人宿泊客数は約37,000人となっており、前年（平成28年）の数値と比較すると約6,000人の増加となっている。</p> <p>平成30年の本市の観光動態データが公表されるのは平成31年8月頃となるが、速報値では約44,000人となっており、前年より7,000人の増加となっていることから、英語版ガイドブックやマップの制作による効果もあるのではと考えている。</p>			
10 総括評価結果 ※実施計画期間終了の翌年度における総括評価の結果を定量的・定性的な側面から具体的に記載してください。			

7 定量的な目標に対する計画の進捗状況 別紙

具体的な指標 1 :	田辺市（田辺、中辺路、大塔、本宮地域）の外国人宿泊客数の増加率				関連事業 :	①②③④⑥	
目標値 1 :	平成 28 年度		100 %		⇒	平成 33 年度 130 %	
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率						
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 34 年度	平成 34 年度
119 %	142 %	%	%	%	%	%	%
63%	140%						
具体的な指標 2 :	熊野古道における外国語表記の案内板（不足分）の設置件数				関連事業 :	⑤	
目標値 2 :	平成 28 年度		0 基		⇒	平成 33 年度 100 基	
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率						
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 34 年度	平成 34 年度
15 基	15 基	基	基	基	基	基	基
15%	15%						

7 定量的な目標に対する計画の進捗状況 別紙（関連事業）

事業①：	外国語（欧米言語）による公式ガイドブックの整備	実施団体：	「世界文化遺産」地域連携協議会 紀伊山地の霊場と参詣道プロジェクトチーム			
事業区分：	情報発信	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：	<p>外国語による公式「紀伊山地の霊場と参詣道」ガイドブックを以下のような形で段階的に整備する。</p> <p>平成29年度：①「中辺路・熊野三山」公式ガイドブック（英語）＜制作済＞</p> <p>平成30年度：②「小辺路・高野山」公式ガイドブック（英語）＜制作済＞</p> <p>平成31年度：③「伊勢路」公式ガイドブック（英語）を制作する。</p> <p>平成32年度：④「大辺路」「吉野」公式ガイドブック（英語）を制作する。</p> <p>平成33年度：公式ガイドブック完成英語版を翻訳し「公式ガイドブック（スペイン語）（仏語）（独語）」を制作する。</p> <p>（※ただし印刷費用地元負担の有無により平成30年以降の取り扱い地域が変化する可能性がある）</p>					
具体的な指標：	田辺市（田辺、中辺路、大塔、本宮地域）の外国人宿泊客数の増加率					
目標値：	平成 28 年度	100 %	⇒	平成 33 年度	130 %	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
119 %	142 %	%	%	%	%	
63%	140%					
具体的な指標：	補助事業終了後のパンフレット等のコンテンツ増刷数（自主事業分）					
目標値：	平成 28 年度	0 冊	⇒	平成 33 年度	800 冊	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
0 冊	200 冊	冊	冊	冊	冊	
0%	25%					
事業②：	外国語（欧米言語）による古道別MAPの整備	実施団体：	「世界文化遺産」地域連携協議会 紀伊山地の霊場と参詣道プロジェクトチーム			
事業区分：	情報発信	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：	<p>公式ガイドブック整備と併せ、英語による古道別MAPを以下のような形で段階的に整備する。</p> <p>平成29年度：「中辺路・熊野三山 MAP」＜制作済＞</p> <p>平成30年度：「小辺路・高野山MAP」＜制作済＞</p> <p>平成31年度：「伊勢路MAP」を制作する。</p> <p>平成32年度：「大辺路・吉野MAP」を制作する。</p> <p>平成33年度：上記を翻訳し「MAP（スペイン語）（仏語）（独語）」を制作する。</p> <p>（※ただし印刷費用地元負担の有無により平成30年以降の取り扱い地域が変化する可能性がある）</p>					
具体的な指標：	田辺市（田辺、中辺路、大塔、本宮地域）の外国人宿泊客数の増加率					
目標値：	平成 28 年度	100 %	⇒	平成 33 年度	130 %	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
119 %	142 %	%	%	%	%	
63%	140%					

具体的な指標：	補助事業終了後のパンフレット等のコンテンツ増刷数（自主事業分）					
目標値：	平成 28 年度		0 冊	⇒	平成 33 年度 800 冊	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
0 冊	0 冊	冊	冊	冊	冊	
0%	0%					
事業③：	外国語によるパンフレットの整備			実施団体：	「世界文化遺産」地域連携協議会 紀伊山地の霊場と参詣道プロジェクトチーム	
事業区分：	情報発信			事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 29 年度	
事業概要：	平成29年度：英・仏・スペイン3か国語併記のパンフレット（外部での宣伝用）を作成<制作済>					
具体的な指標：	田辺市（田辺、中辺路、大塔、本宮地域）の外国人宿泊客数の増加率					
目標値：	平成 28 年度		100 %	⇒	平成 33 年度 130 %	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
119 %	142 %	%	%	%	%	
63%	140%					
具体的な指標：	補助事業終了後のパンフレット等のコンテンツ増刷数（自主事業分）					
目標値：	平成 28 年度		0 冊	⇒	平成 33 年度 200 冊	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
0 冊	200 冊	冊	冊	冊	冊	
0%	100%					

事業④：	「紀伊山地の霊場と参詣道」シンポジウム日本語冊子と翻訳原稿（11言語）					実施団体：	「世界文化遺産」地域連携協議会 紀伊山地の霊場と参詣道プロジェクトチーム				
事業区分：	情報発信					事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 31 年度				
事業概要：	<p>平成29年度に熊野・吉野・高野の宗教界重鎮を招き開催したシンポジウムの内容を平成30年度より多言語<10言語>（英・中簡・中繁・韓・独・仏・伊・露・スペイン・ポルトガル）に翻訳し、平成31年度からHPを作成し公開する。また、日本語版については簡易版冊子を作成、関係者などに配布。</p> <p>※平成30年度については、平成29年度に開催したシンポジウムの内容を、多言語<10言語>（英・中簡・中繁・韓・独・仏・伊・露・スペイン・ポルトガル）に翻訳。</p> <p>平成31年度については、平成30年度で作成した翻訳原稿を基に、「世界文化遺産」地域連携協議会・紀伊山地の霊場と参詣道プロジェクトチーム独自のホームページを立ち上げることとする。</p>										
具体的な指標：	田辺市（田辺、中辺路、大塔、本宮地域）の外国人宿泊客数の増加率										
目標値：	平成 28 年度		100 %		⇒	平成 33 年度		130 %			
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
119 %	142 %	%	%	%	%						
63%	140%										
具体的な指標：	HP閲覧者数										
目標値：	平成 29 年度		0 PV		⇒	平成 34 年度		5,000 PV			
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
0 PV	0 PV	PV	PV	PV	PV						
0%	0%										

事業⑤：	熊野古道における外国語表記案内板（不足分）の整備	実施団体：	「世界文化遺産」地域連携協議会 紀伊山地の霊場と参詣道プロジェクトチーム				
事業区分：	情報発信	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度				
事業概要：	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度：田辺市域の追加登録遺産関係地への外国語表記案内板の設置（田辺地域内の熊野古道（中辺路）については追加登録地も含め概ね整備済）＜実施済＞ ・平成30年度に「中辺路（田辺市域外）」「小辺路」「大辺路」「伊勢路」等における不足箇所調査実施＜実施済＞ ・調査結果に基づき平成31年度より順次整備をおこない、平成33年度に完成 						
具体的な指標：	外国語表記の案内板（不足分）の設置件数						
目標値：	平成 28 年度		0 基	⇒	平成 33 年度		100 基
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率						
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度		
15 基	15 基	基	基	基	基		
15%	15%						
事業⑥：	国内外におけるセミナー開催	実施団体：	「世界文化遺産」地域連携協議会 紀伊山地の霊場と参詣道プロジェクトチーム				
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度				
事業概要：	<p>平成29年 東京における「三霊場フォーラム」開催（実施済）</p> <p>平成30年 スペインにおける「紀伊山地の霊場と参詣道」フォーラム開催（実施済）</p> <p>※熊野古道とサンティアゴ・デ・コンポステーラ「巡礼道」=いずれも世界文化遺産に登録されている巡礼文化の情報発信</p> <p>平成31年度については、次年度の計画期間と位置付け、平成32年度以降で東京や欧米のJNT0日本事務所所在地=ロンドン・パリ・NY・ロスなどでの開催可能性を検討</p>						
具体的な指標：	セミナー開催による文化遺産への理解度						
目標値：	平成 29 年度		30 %	⇒	平成 33 年度		80 %
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率						
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度		
50 %	70 %	%	%	%	%		
40%	80%						